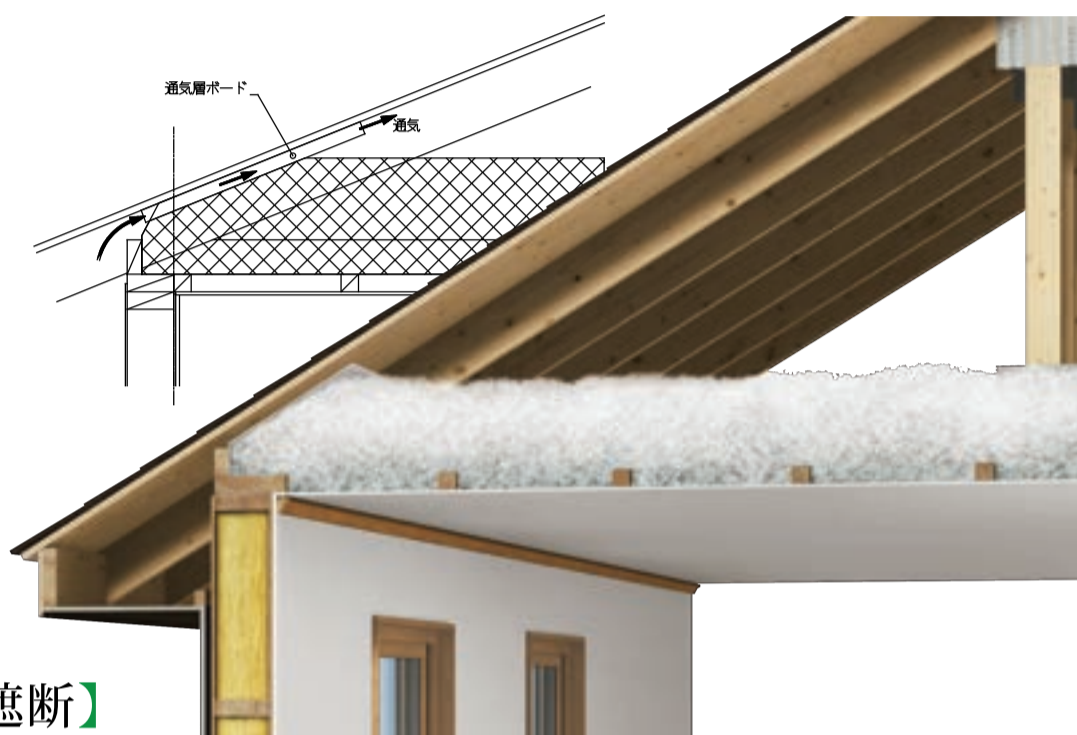
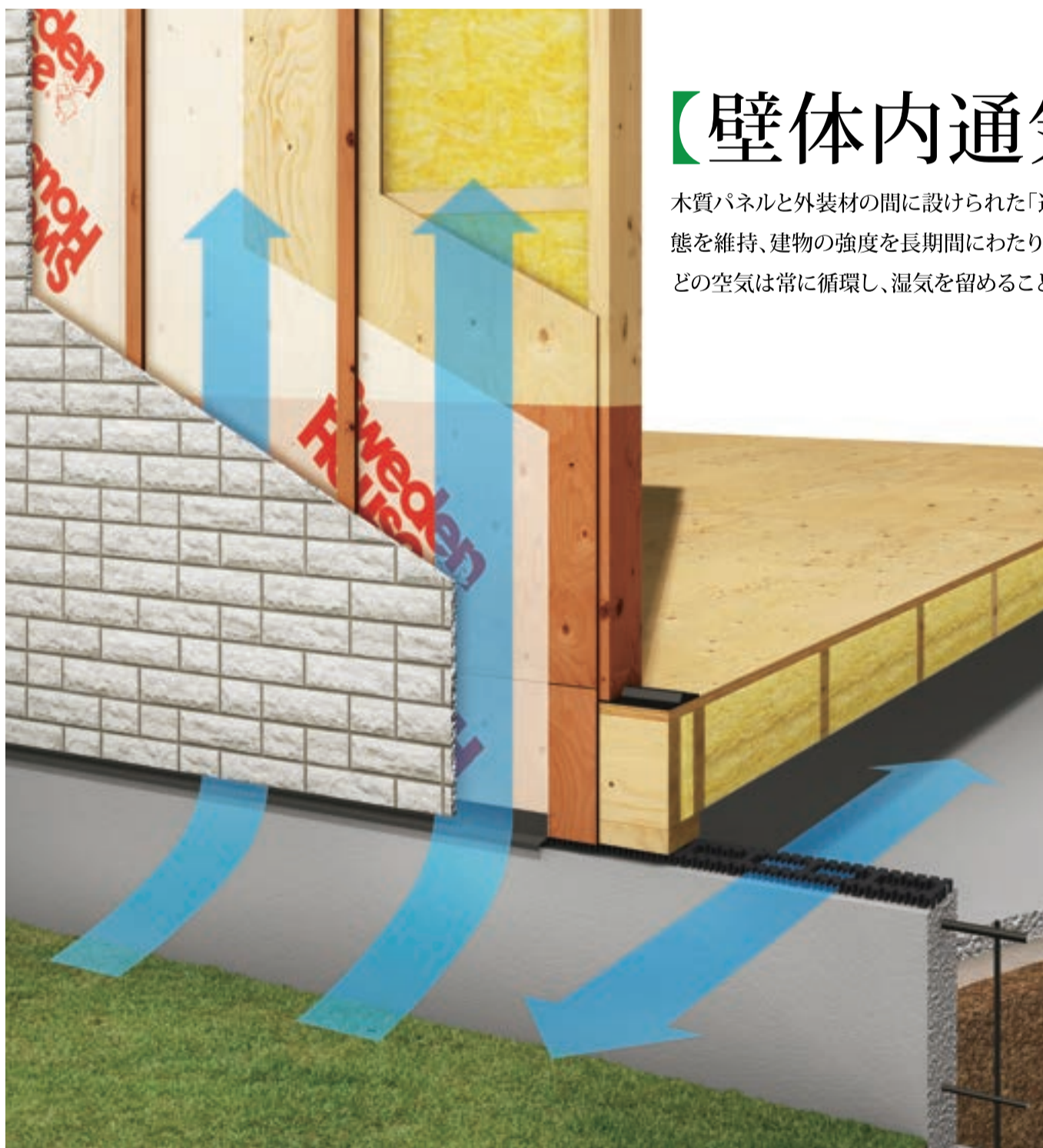


# 家の全周に空気の通り道をもうけ 常に木材を乾燥状態に保つ独自の通気工法。

## 【天井裏通気】



【パネル内の湿気は外へ、外からの水は遮断】



## 【壁体内通気】

木質パネルと外装材の間に設けられた「通気層」により湿気を外に放出し、構造体の乾燥状態を維持、建物の強度を長期間にわたり保ちます。この通気工法により、壁・天井裏・床下などの空気は常に循環し、湿気を留めることがないため、壁体内結露の心配がありません。

## 【床下通気】

基礎にも2重3重の湿気対策。まずは地面から上昇する湿気には、防湿フィルムで防ぎます。さらに基礎と土台の間には、基礎パッキンを施工し、床下全周換気を実現。これにより床下の湿気を外へと逃がして乾燥状態を維持します。また床構造には厚さ21mmの構造用合板を施工。室内への湿気の侵入をシャットアウトします。

